科目名	スポーツ産業論　　Sports Industry						
科目担当者	奥村 憲博　　OKUMURA Norihiro						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	スポーツ産業は，施設，スポーツサービス，プロスポーツ，メディアなど多岐にわたる。さらに，マーケティングやマネジメントとも関わりが深い。スポーツ産業を学ぶことでスポーツに関する職業領域を理解する。						
授業の到達目標	①施設，スポーツサービス，プロスポーツ，メディアなど多岐にわたるスポーツ産業を理解することで、スポーツ産業を巡る課題に対する解決・改善に向けて、主体的に対応する力(課題発見力・問題設定力・対応力)を身に付ける。 ②マーケティングやマネジメントとも関わりが深い。スポーツ産業を学ぶことで、地域社会のみならず国内外の広いフィールドで中核的な人材として活躍するための経営的知識、技能、読む力、考える力及び判断力を発揮できるようになる。						

授業計画・内容		
	1	オリエンテーション：　講義方針と性先評価について
	2	スポーツ産業とは
	3	スポーツ用品産業
	4	スポーツ施設産業
	5	スポーツサービス産業
	6	スポーツとメディア産業
	7	プロスポーツビジネス１　日本のプロスポーツ
	8	プロスポーツビジネス２　欧米のプロスポーツ
	9	スポーツ消費者１　するスポーツ・見るスポーツ
	10	スポーツ消費者２　スポーツサービス
	11	公共スポーツ施設のマネジメント
	12	フィットネスクラブのマネジメント
	13	クラブ事業のマネジメント
	14	スポーツスポンサーシップ
	15	スポーツ資格制度

授業外学修 (事前学修)	毎回，Moodle に投稿されるプレゼン資料を予習し、講義内での意見、質問等をノートにまとめておく（毎週 2 時間程度）。
授業外学修 (事後学修)	毎回，授業内容を復習し、それに関連する事例を新聞，テレビやインターネット等における国内外報道を検索し、ノートに追記する（毎週 2 時間程度）。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 平常点（講義中の質疑・発言等）	80% 20%	①、② ①、②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	原則として教科書やテキストは使わない。パソコンのパワーポイント・ソフトを使って講義する（毎回 Moodle にプレゼン資料投稿)。
参考文献	
その他	